



アルゼンチンの 最新政治経済情勢 ～大統領選の年をどう見るか～

日本貿易振興機構(JETRO)
ブエノスアイレス事務所
紀井寿雄
2019年3月19日

マクリ政権の4年間(途中経過)

マクリ大統領就任前・輸入規制・為替規制・融資の制約(パリクラブ問題等)



マクリ大統領就任後・財政規律回復・債務返済による国際金融界からの
信任の獲得・送金規制緩和・輸入規制緩和等に着手

ビジネス環境の改善

2016年～
2017年上半年

前政権期の
諸制度の改正
(輸入規制、
外貨規制、
輸出税、為替、
統計等)

政治と経済
両輪の安定

2017年下半年

マクロ経済
指標の改善

議会中間選挙の
勝利

政権後半戦
の挑戦

2017年末期～

インフラ投資計画
(PPP)

各種制度改正
(税制、年金、
労働制度等)

躊躇

2018年第2四半期～

マクロ経済
指標の悪化

2019年10月
大統領選

アルゼンチンの経済の動き

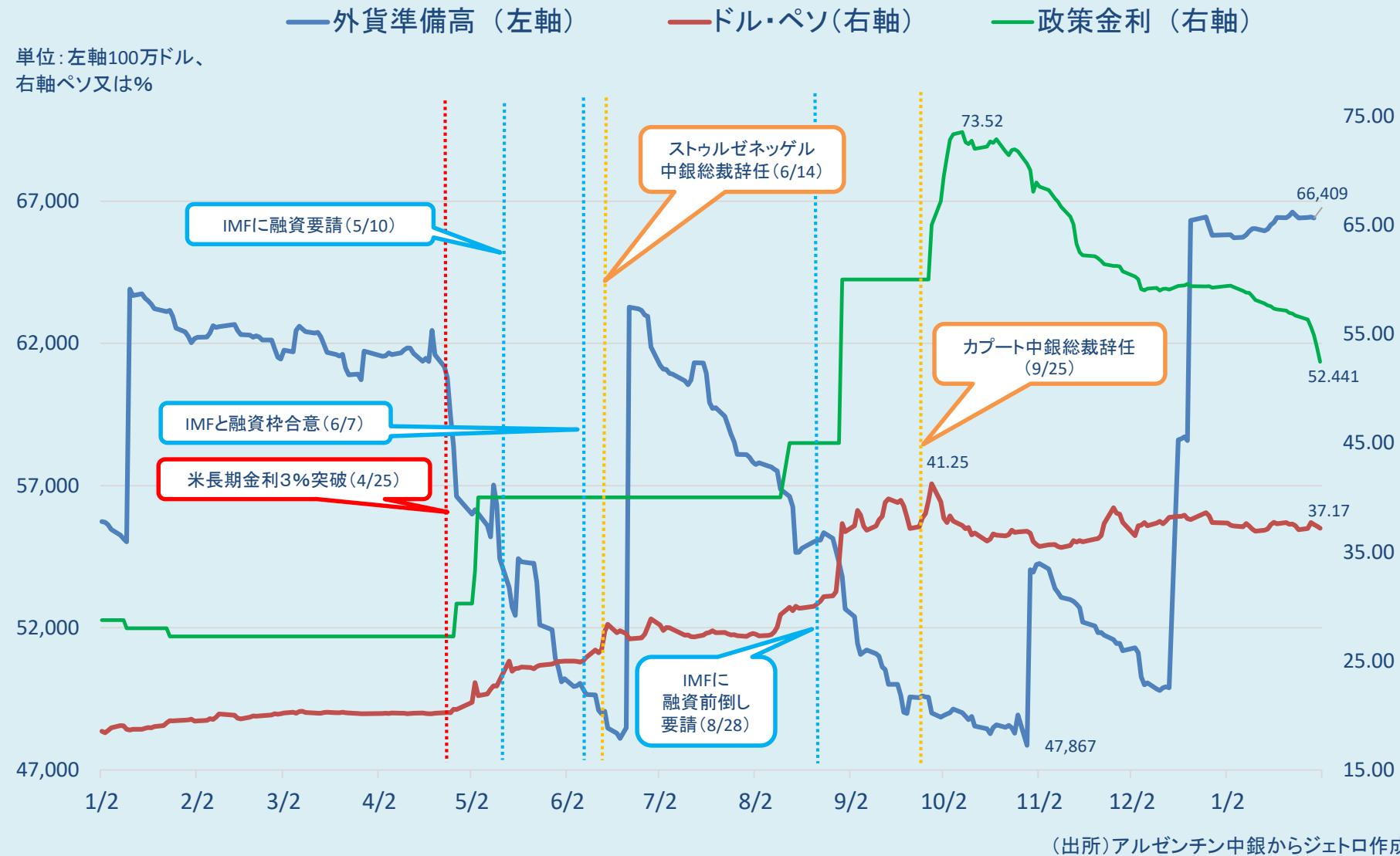
<アルゼンチンの主な経済指標>

	2016年	2017年	2018年 (見通し)	2018年出所 (見通し)
実質GDP成長率 (%)	△ 1.8	2.9	△ 2.6	IMF
消費者物価上昇率 (%)	(40.6)	24.8	47.6	中銀
失業率 (%)	7.6	7.2	8.9	IMF
輸出額 (FOB、100万ドル)	57,879	58,428	61,621	INDEC
輸入額 (CIF、100万ドル)	55,911	66,899	65,441	INDEC
対内直接投資額(100万ドル)	3,260	11,857	—	
経常収支 (100万ドル)	△ 14,533	△ 30,792	△ 17,531	IMF
外貨準備高 (100万ドル)	39,308	55,055	65,806	中銀
為替レート (1ドル相当ペソ)	15.9	18.8	37.7	中銀

(注1) 消費者物価上昇率は、前年同月比。2015年は、10月までのデータ。2016年は、統計局改正のため1~4月分のデータ集計が無く通年の消費者物価上昇率は未発表。

(出所) 外貨準備高、為替レートは中央銀行。その他は国家統計・センサス局 (INDEC)。

2018年以降の主要経済指標の動き



現政権の(目先の)優先順位

1: 為替の安定

2: インフレ率の鎮静化

3: 政策金利の抑制

それから: 景気の回復

現政権の(目先の)優先順位

1：為替の安定



現政権の(目先の)優先順位

2: インフレ率の鎮静化



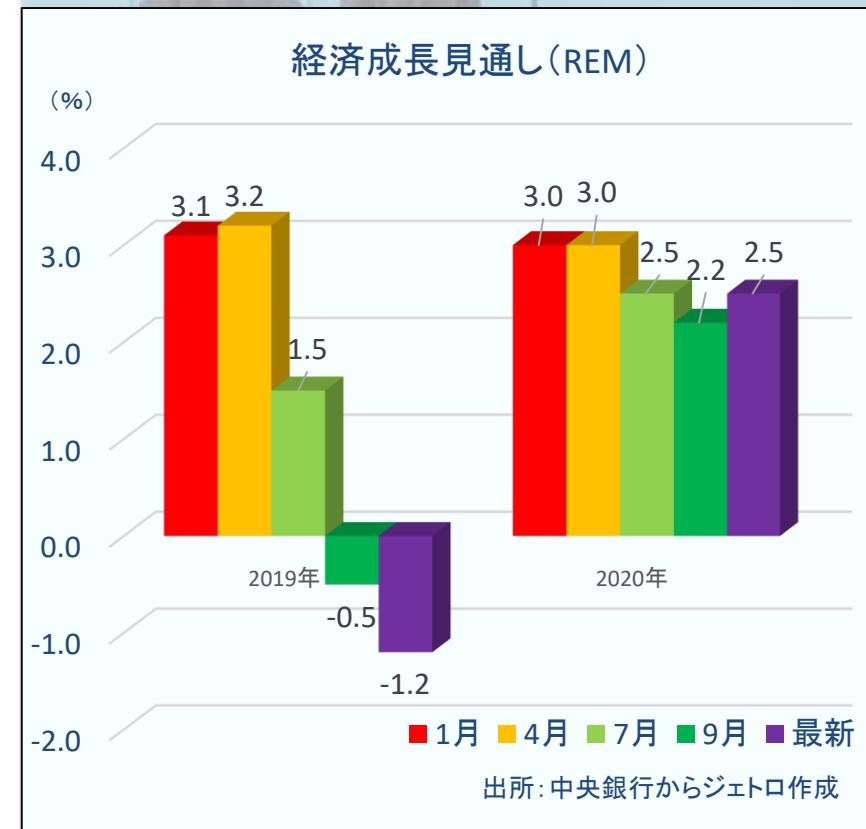
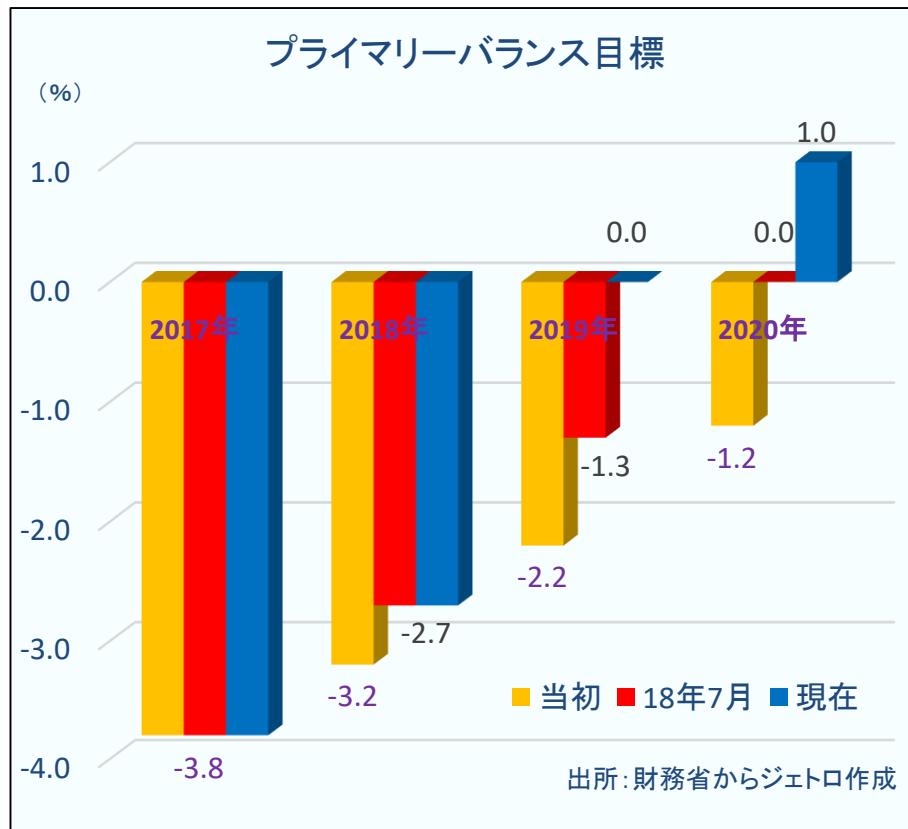
現政権の(目先の)優先順位

3: 政策金利の抑制



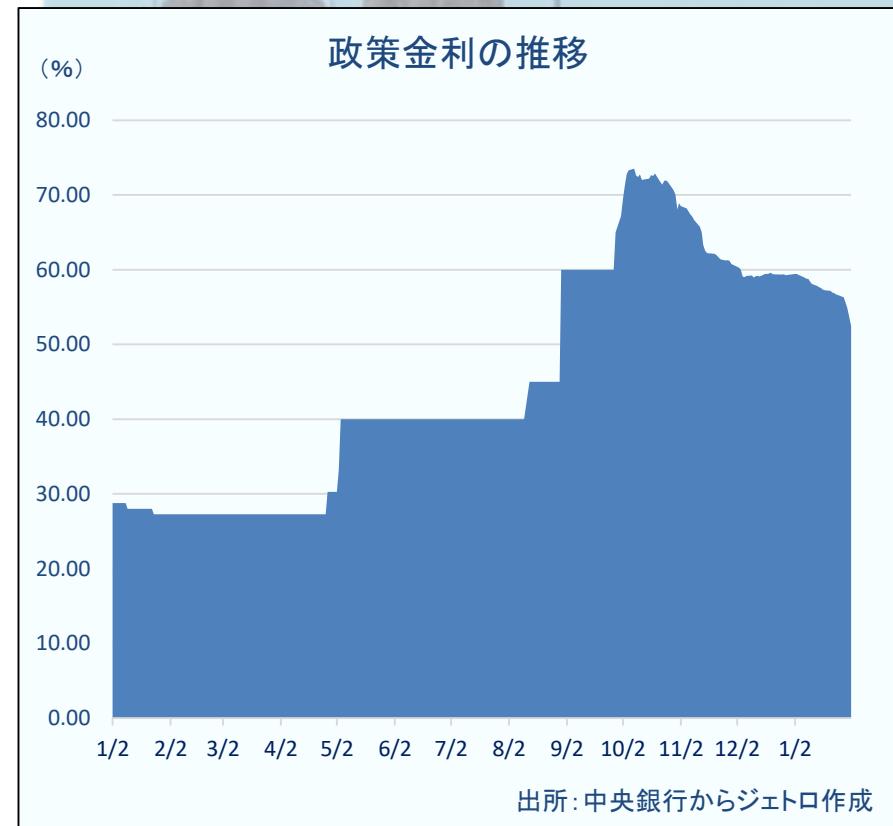
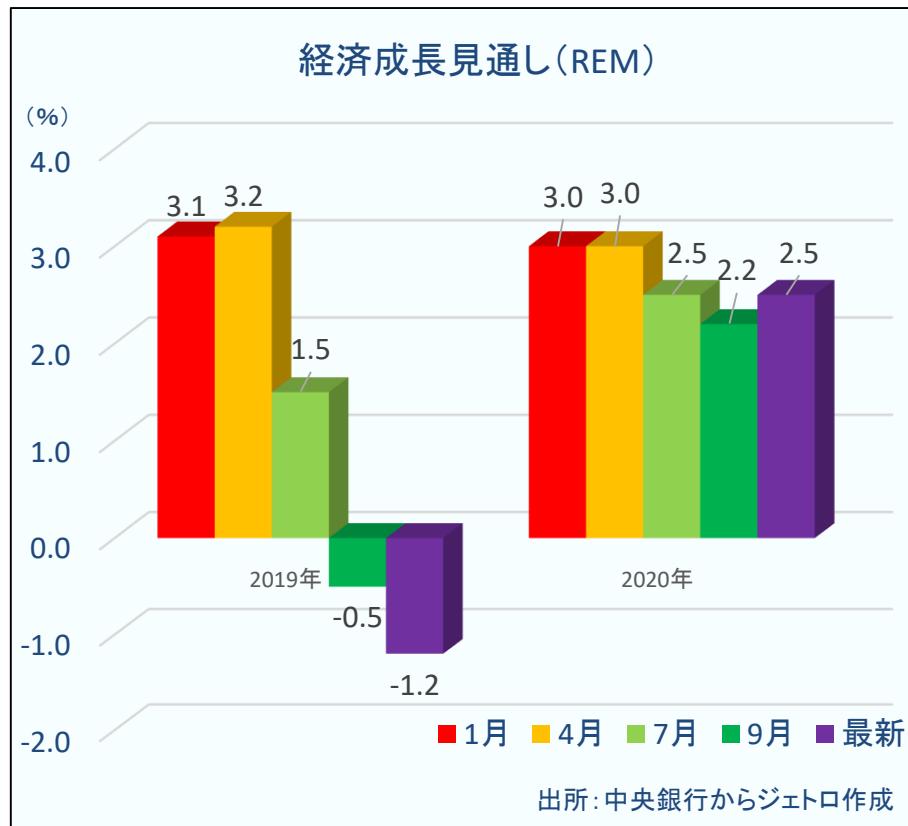
2019年の経済見通し

財政再建 > 経済成長



2019年の経済見通し

景気回復 ≠ 高金利政策



アルゼンチン大統領選挙

(2019年8月11日：予備選挙)

(2019年10月27日：本選挙)

(2019年11月24日：決選投票)

ペロン党
急進派



- ・左派
- ・フェルナンデス
前大統領
- ・反政府を旗印

<三つ巴>

ペロン党
稳健派



- ・中道左派
- ・候補者乱立
- ・漁夫の利を狙う

与党連合
カンビエモス



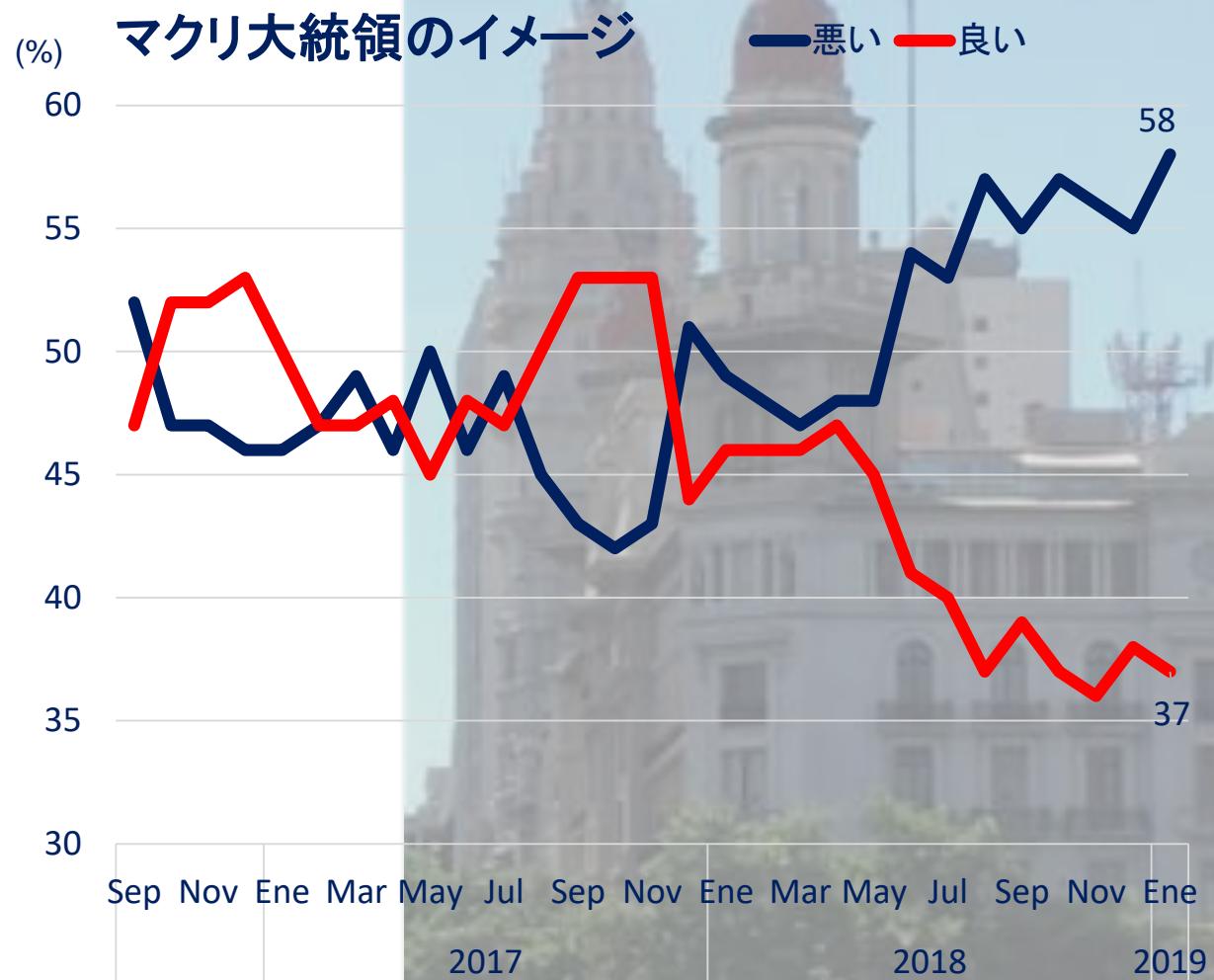
- ・中道右派
- ・マクリ大統領
- ・国際的な支持

アルゼンチン大統領選挙

与党連合
カンビエモス

Cambiemos

- ・中道右派
- ・マクリ大統領
- ・国際的な支持



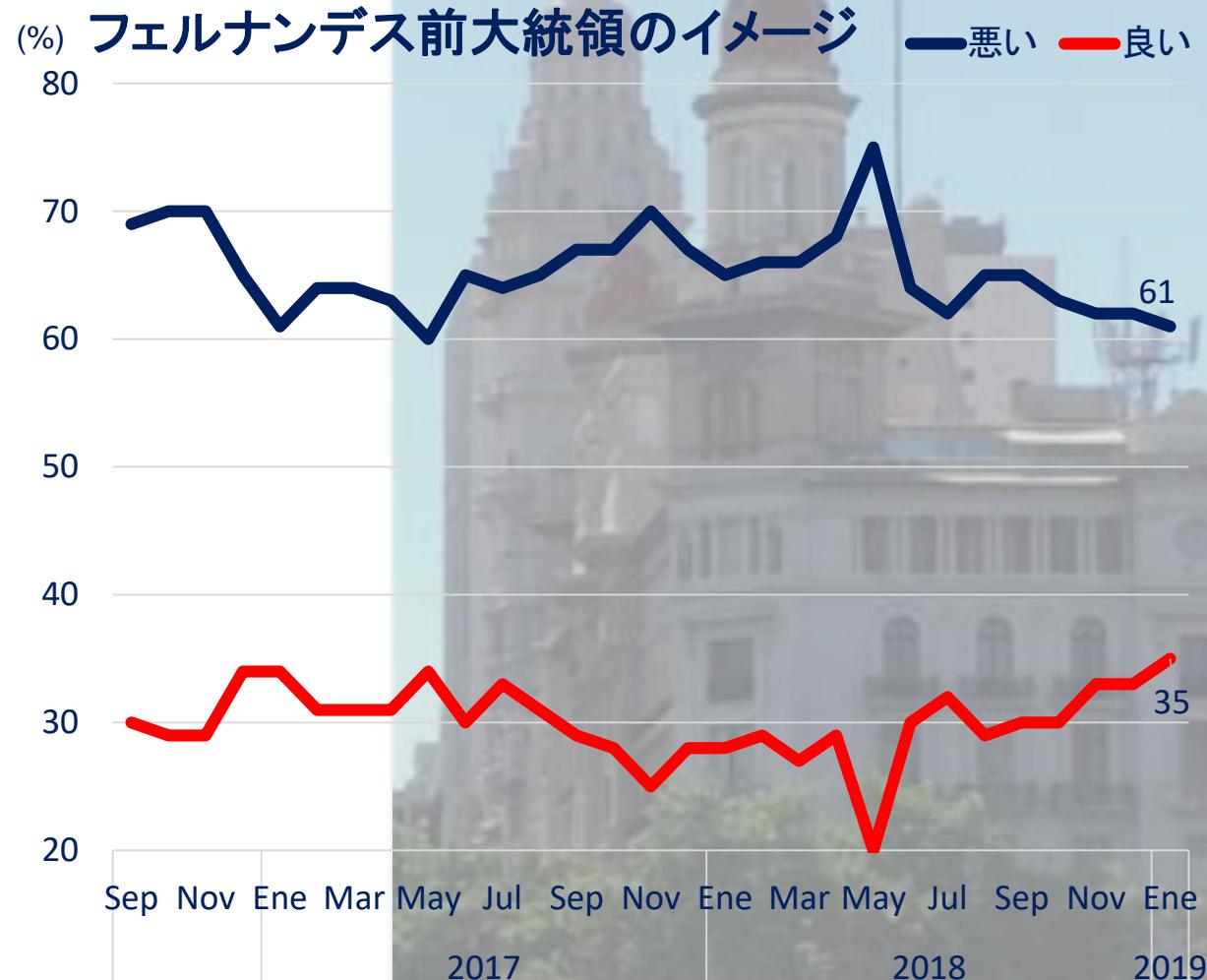
(出所:D'Alessio IROL / Berensztein社からジェトロ作成)

アルゼンチン大統領選挙

ペロン党
急進派



・左派
・フェルナンデス
前大統領
・反政府を旗印



(出所:D'Alessio IROL / Berensztein社からジェトロ作成)

アルゼンチン大統領選挙

世論調査

本選挙 シナリオ1

ペロン党
急進派

フェルナンデス
前大統領

27.8%

ペロン党
稳健派

ラバニヤ
元経済財政相

14.2%

与党連合
カンビエモス

マクリ大統領

26.2%

フェルナンデス前大統領が1位

アルゼンチン大統領選挙

世論調査

本選挙 シナリオ2

ペロン党
急進派

フェルナンデス
前大統領

28.9%

ペロン党
稳健派

マッサ
元首相

13.9%

与党連合
カンビエモス

マクリ大統領

28.4%

フェルナンデス前大統領が1位

アルゼンチン大統領選挙

世論調査

本選挙 シナリオ3

ペロン党
急進派

キシロフ
元経済相

11.3%

ペロン党
稳健派

ラバニヤ
元経済財政相

14.5%

与党連合
カンビエモス

マクリ大統領

25.5%

マクリ大統領が1位

アルゼンチン大統領選挙

世論調査

本選挙 シナリオ4

ペロン党
急進派

キシロフ
元経済相

12.2%

ペロン党
稳健派

マッサ
元首相

17.9%

与党連合
カンビエモス

マクリ大統領

26.7%

マクリ大統領が1位

アルゼンチン大統領選挙

世論調査

決選投票 シナリオ1

ペロン党
急進派

フェルナンデス
元大統領

38.8%

与党連合
カンビエモス

マクリ大統領

41.9%

マクリ大統領が優勢

アルゼンチン大統領選挙

世論調査

決選投票 シナリオ2

ペロン党
稳健派

ラバニヤ
元経済財政相

40.3%

与党連合
カンビエモス

マクリ大統領

37.1%

ラバニヤ元経済相が優勢

アルゼンチン大統領選挙

世論調査

決選投票 シナリオ3

ペロン党
稳健派

マッサ
元首相

39.9%

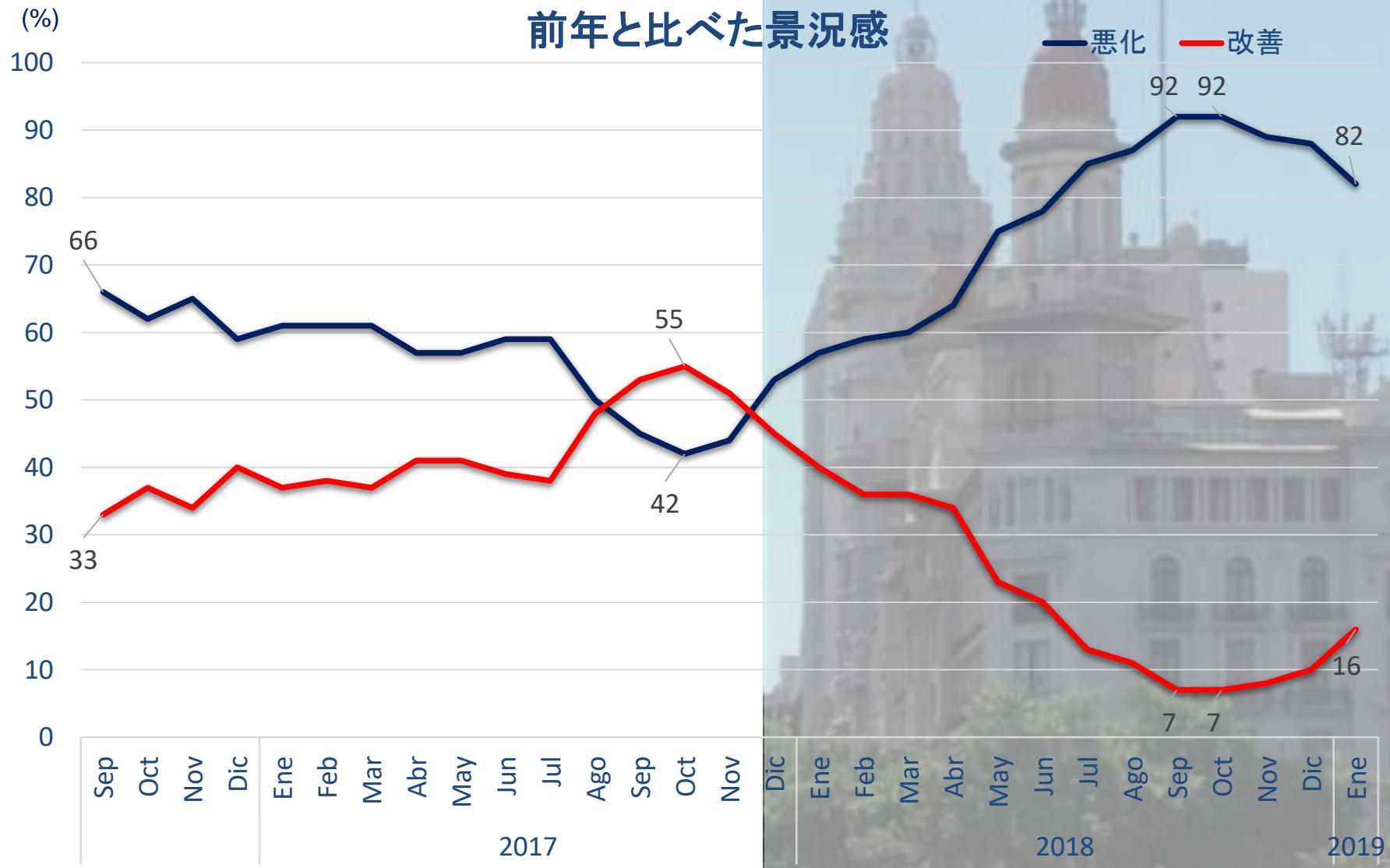
与党連合
カンビエモス

マクリ大統領

37.5%

マッサ元首相が優勢

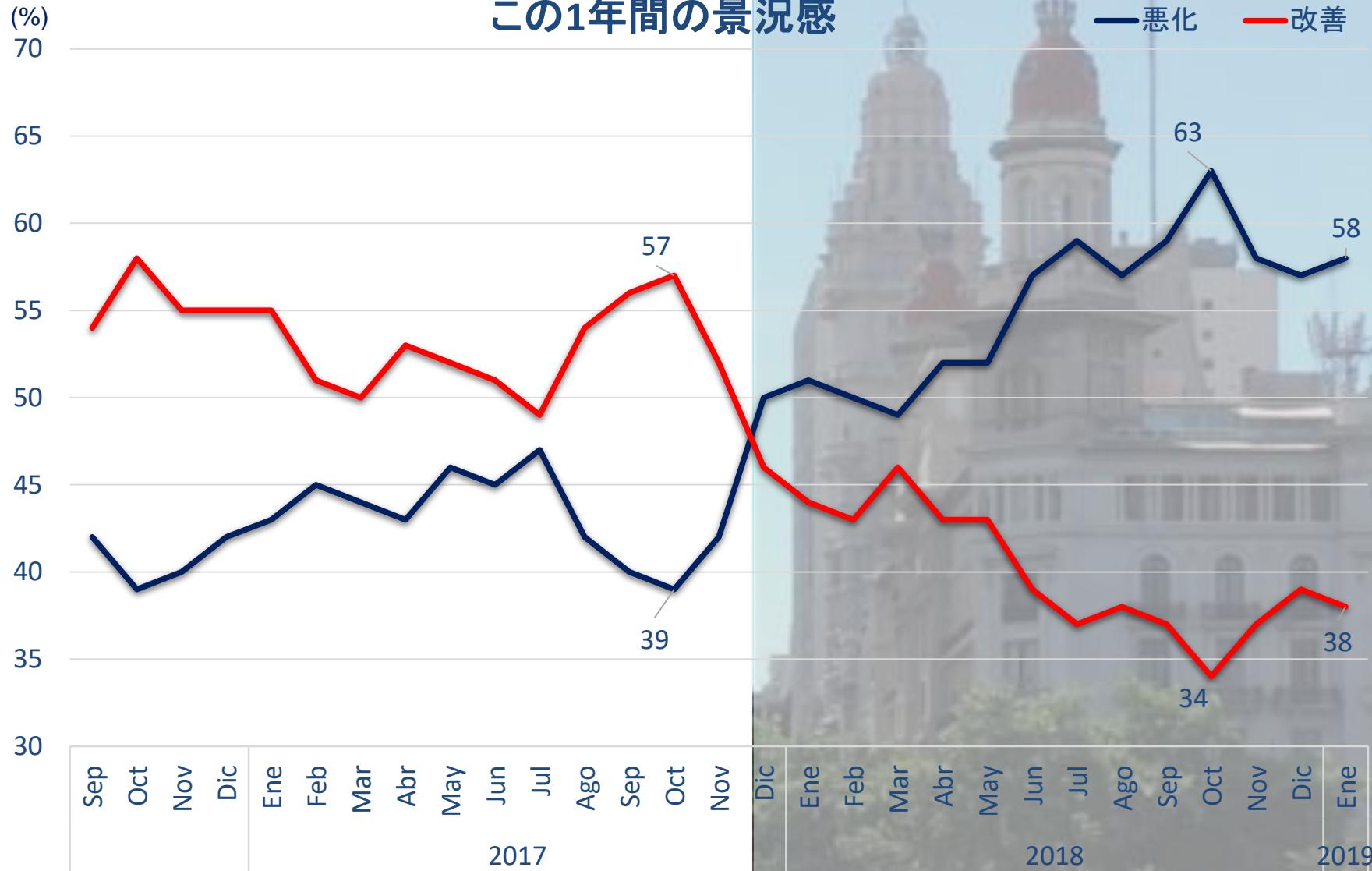
景況感と政権への評価



(出所:D'Alessio IROL / Berensztein社からジェトロ作成)

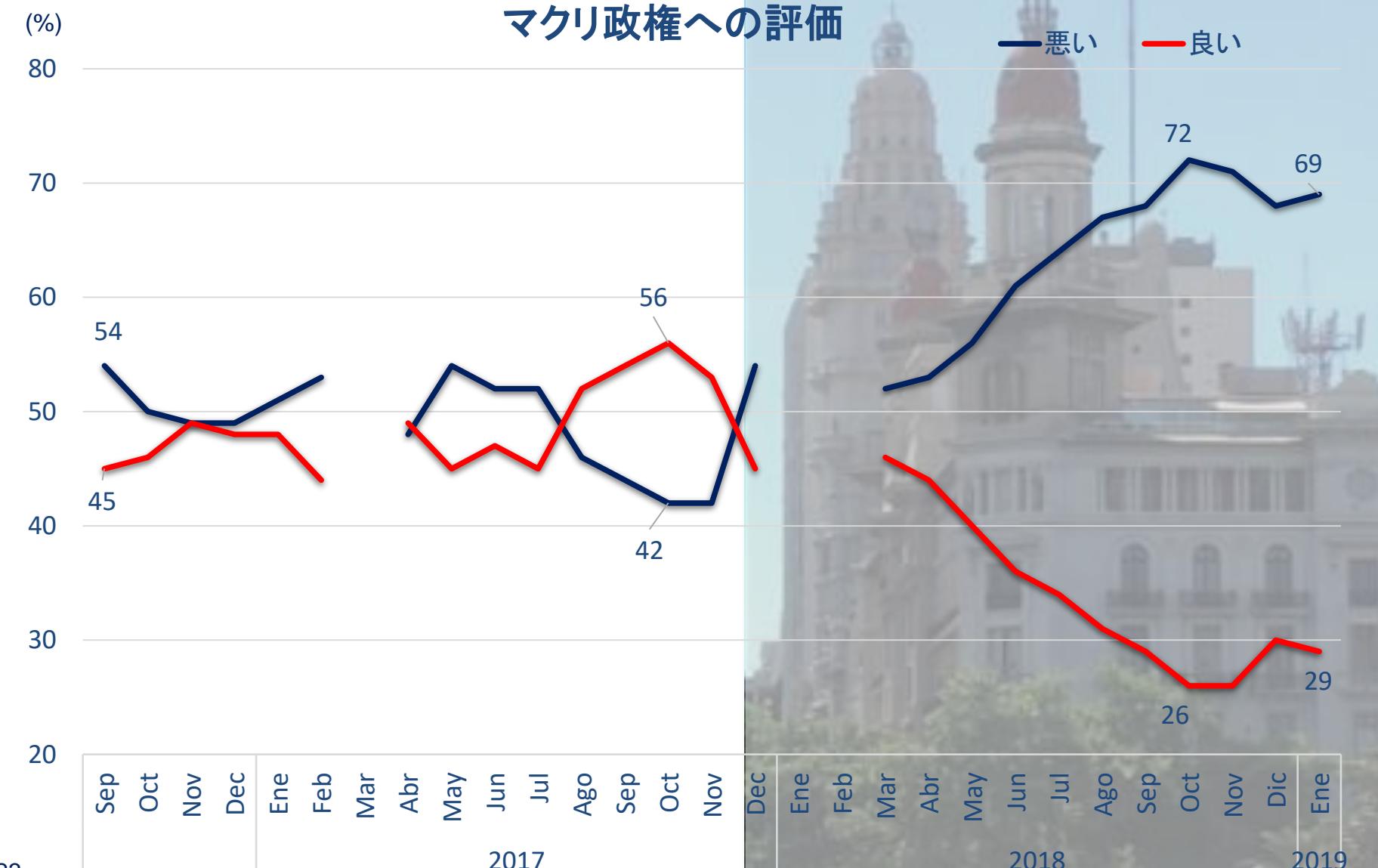
景況感と政権への評価

この1年間の景況感



(出所:D'Alessio IROL / Berensztein社からジェトロ作成)

景況感と政権への評価



(出所:D'Alessio IROL / Berensztein社からジェトロ作成)

「日亞」という戦略的パートナー

- ・日本とアルゼンチンとの「黄金の4年間」
 - 2016年から4年連続首脳の往来が予定

- ・2016年11月 安倍総理訪亜(57年ぶり)
- ・2017年5月 マクリ大統領訪日(19年ぶり)
- ・2018年11月 G20首脳会議@アルゼンチン
- ・2019年6月 G20首脳会議@日本



アルゼンチンとの関係強化の後押し材料

政府要人の往来

投資協定への動き

租税条約への動き

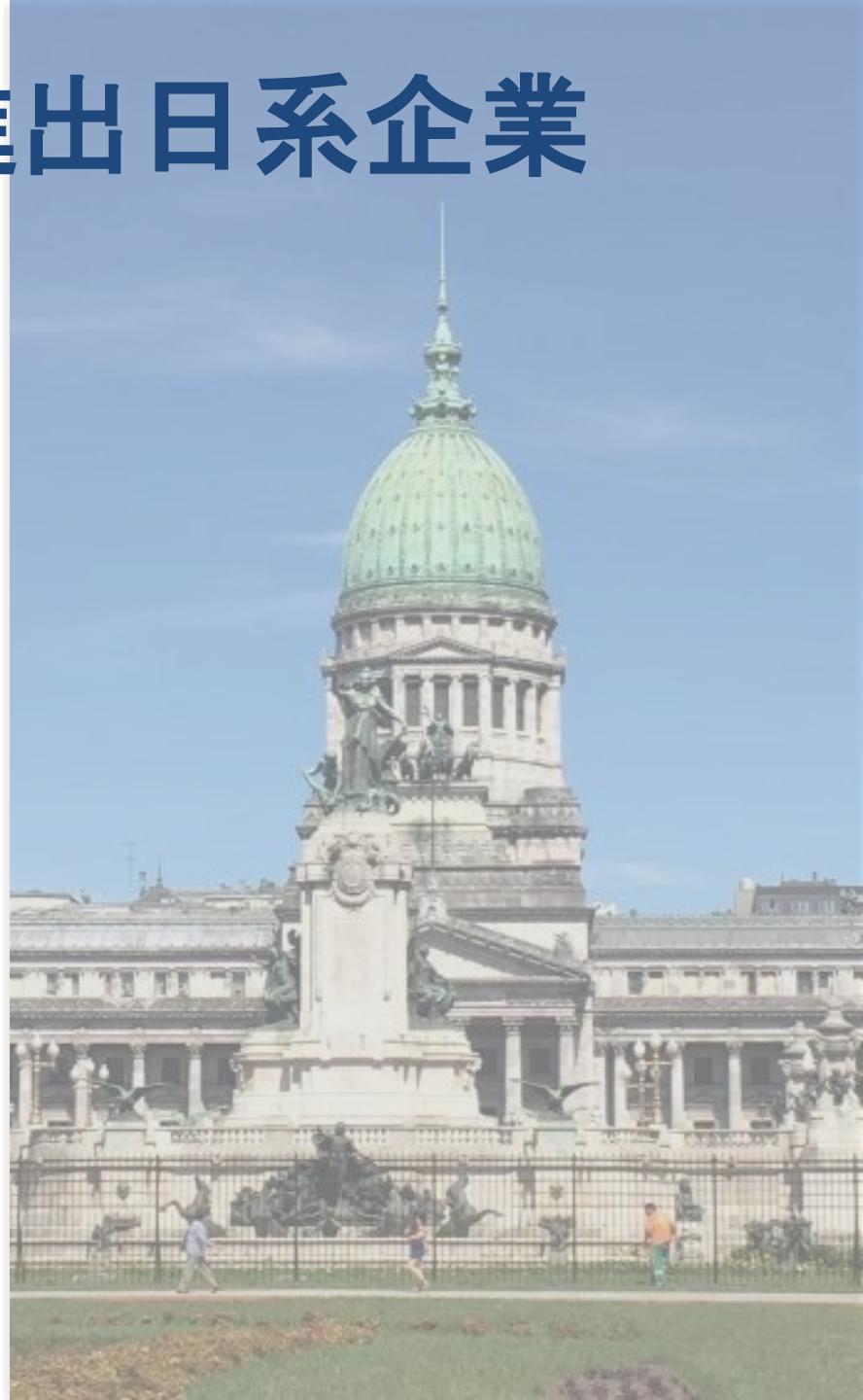
OECD加盟への動き

日本・メルコスールEPA交渉への動き

アルゼンチン進出日系企業

- ・進出日系企業は約60社

味の素	ジェイテクト	NTN
アルパイン	片岡物産	SMC
三菱UFJ銀行	公文教育研究会	双日
ブリヂストン	クラレ	ソニー
ブラザー	マキタ	住友化学
ダイキン	丸紅	住友商事
デンソー	前川製作所	住商アグロ
電通	三菱商事	テルモ
エプソン	三井物産	TLV
ファナック	三井住友海上	トヨタ自動車
フジテック	ミツトヨ	豊田紡織
富士通	NEC	豊田自動織機
古河電工	日産自動車	トヨタ輸送
日野自動車	NSK	豊田通商
日立製作所	沖データ	ビューテック
本田技研工業	パナソニック	ヤマハ発動機
ホンダトレーディング	パイオニア	ヤマハ
いすゞ自動車	リコー	矢崎総業
伊藤忠商事	サトー	YKK
日本板硝子	サカタのタネ	郵船ロジスティックス
東芝メディカル		



ジェトロ・ブエノスアイレス事務所
Av. Corrientes 222 P.9
(C1043AAP) Buenos Aires, Republica Argentina
TEL:54-11-5235-0977

https://www.jetro.go.jp/world/cs_america/ar/ (ビジネス情報)

<https://www.jetro.go.jp/argentina/> (スペイン語ページ)

【ご注意】

同資料の内容は情報提供を目的に作成したものです。

資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力しておりますが、その正確性を保証するものではありません。本情報の採否はお客様のご判断で行いください。

また、万一不利益を被る事態が生じましても資料作成者は責任を負うことができませんのでご了承ください。